

もりんぴあタイムズ

号外

キッズタウン

NARITA 2022

2022年9月7日発行

みんなが笑顔で楽しく帰れるまち「キッズタウン NARITA 2022」開催



8月6日(土)と7日(日)の2日間、成田市こどものまち「キッズタウン NARITA 2022」が開催され、累計223人の子どもたちがキッズタウン NARITA に転入(参加)し、85名の子ども実行委員により迎え入れられました。

新型コロナウイルス第7波の渦中、不安を抱えての開催となりましたが、大人の心配をよそに、子どもたちは元気いっぱいに感染対策のルールを守りながら、こどものまちを一杯楽しみました。

こどものまちとは、子どもだけのまちで、まちのお店や施設で働くことにより、こどものまちだけで使えるお金を得ることができます。そのお金を使って、買い物をしたり、遊んだりすることにより、実社会を疑似体験することができます。似たような商業施設もありますが、そのような商業施設は大人が用意したものに従って体験するもの。この『こどものまち』はまちの看板から装飾品など全て子どもたちの手作りで、ルールやまちのコンセプトも全て子ども実行委員が決めます。



昨年に引き続き、2日間開催で各日午前・午後の2部制としました。また事前予約とし人数を制限して、まちの中では食事禁止としました。昨年から継続されたものはコロナ対策だけではなく、『巨大迷路』や『水族館』、『電子マネー』といったお仕事、方式が昨年好評だったため、今年も実施されました。



また、新たな取り組みとして、『文化ホール』『博物館』『図書館』『フェイスペイント』『ガーデンクラフト』が新設されました。

文化ホールで発表されたダンス。実は昨年のこどものまち終了後に来年のこどものまちではダンスを発表したいという声があがり、今年に入ってから練習を重ねてきました。ダンスを指導するのは、こどものまち OB の高校生。こどものまちに今でも関わってくれるのは嬉しい限りです。また『ガーデンクラフト』では鉢にペットボトルを使用し、SDGs を意識した仕事になっています。子どもならではの視点ではありますが、実社会の世相を繁栄しているのも、こどものまちの面白いところです。

| 入場者数 | 午前 | 午後 |
|------|-----|-----|
| 6日 | 58人 | 51人 |
| 7日 | 58人 | 56人 |

この『こどものまち』での経験を活かし、実社会での生活に役立出させてくれる事と、来年は通常通りの開催に戻ることを願うばかりです。



※集合写真撮影時のみ喋らないことを条件にマスクを外しています。

こどものまちの進め方



① 整理券を提出し、市民証をもらう



② ハローワークで仕事を紹介してもらう



③ 仕事をする



④ 仕事をした分の給料が電子マネーにチャージされる



もっとお金をためたい人は②へ



⑤ ゲームや買い物をする！

②~⑤をくりかえす